

前回定例会（平成29年6月7日）以降の主な動き

平成29年7月5日  
資源エネルギー庁  
柏崎刈羽地域担当官事務所

1. 電力全般

- (1) 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会 制度検討作業部会（第7回、第8回）【6月6日、30日開催】

電力システム改革の目的（①安定供給の確保、②電気料金の最大限の抑制、③事業者の事業機会及び需要家の選択肢の拡大）達成に向けて、各制度の実効性を高めるため、実務的な観点を十分に踏まえるべく、幅広い関係者に意見を求めつつ、詳細制度の検討を行う。

第7回は、需給調整市場、インバランス制度について、第8回は、ベースロード電源市場等について議論。

- (2) 電力インフラのデジタル化研究会（E-Tech研究会）（第5回）  
【6月13日開催】

電力インフラのデジタル化を実現しうる具体的な価値（収益性向上、海外展開など）を検討しつつ、国全体の電力産業の競争力強化に資する項目について、具体施策を議論。

第5回は、国内送配電事業の取組事例、海外における送配電事業の現状について報告。

- (3) 高速炉開発会議 戦略ワーキンググループ（第2回）【6月15日開催】

今後10年程度の開発作業を特定する「戦略ロードマップ（仮称）」の策定に向けて、実務レベルで技術的な検討を行う。

第2回は、有識者からのヒアリングを実施。

- (4) 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 原子力小委員会 自主的安全性向上・技術・人材ワーキンググループ（第17回）  
【6月21日開催】

一昨年とりまとめた「軽水炉安全技術・人材ロードマップ」（平成27年6月16日）及び「原子力の自主的安全性向上の取組の改善に向けた提言」（平成27年5月27日）について、更なる改善に向けた議論を行う。

第17回は、原子力の自主的安全性向上について議論。

## 2. 新エネ・省エネ関連

- (1) 再生可能エネルギーの大量導入時代における政策課題に関する研究会  
(第2回～第5回)【6月7日、14日、20日、7月4日開催】

再生可能エネルギーの更なる導入拡大を図るためには、自立化に向けた環境整備、電力系統の運用・整備の在り方について検討が必要である。このため、今後の再生可能エネルギーの政策課題について検討を行う。

第2回及び第3回は、再生可能エネルギーに係る諸外国の状況について、第4回及び第5回は、論点整理などについて議論。

- (2) 総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会  
省エネルギー小委員会(第23回)【6月29日開催】

省エネルギー政策の基本的方向性、適正な省エネルギー基準の在り方などについて検討を行う。

第23回は、荷主規制のあり方に関するヒアリングを実施。

## 3. その他

- (1) 総合資源エネルギー調査会 資源・燃料分科会(第22回)【6月21日開催】

資源開発政策(石油・天然ガス・石炭・金属鉱物)等について、検討を行う。

第22回は、LNG市場戦略の進捗と今後の取組、メタンハイドレート開発の今後の在り方、地熱資源開発の現状などについて議論。

(以上)